

Title	編集後記 (泌尿器科紀要 第2巻第5号)
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (1956), 2(5): 314-314
Issue Date	1956-09
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/111142">http://hdl.handle.net/2433/111142</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

## 編集後記

第44回日本泌尿器科学会は7月7、8両日北海道大学にて開催せられた。今回は皮膚科と別個に、泌尿器科単独にて行われたにも拘らず例年よりも却つて会員の参集は多かつた。学会が極めて有意義に且つ順調に進行した事は辻教授とその医局員並びに之を援けられたる札幌医大高井修道教授とその医局員の御努力の賜である。観光コース実施に就ても多大の御尽力であつた。厚く感謝する。



評議員会は例年の如き順序で行われたが近來は評議すべき重要案件が多い。例えば社会保険、専門医制度、科学研究費等の問題である。従つて食事前の短時間では不充分であり、今後はもつと多くの時間を当てる必要があると思われた。重松教授が折角案件を持参せられたのに、時間がないために充分討議出来なかつたのは残念であつた。



学会場はどことも暗くしてスライドで進行するのであるが若し之が明るいまの会場で行われる様になれば学会の空気は一新するであらう。その様な新工夫が成功する日を期待する。

## 購読要項

1. 発行は隔月（年6回）とする。
2. 会員は年間料金600円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都4772番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

## 投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は本会々員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用海字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。  
例. 中野：泌尿紀要、1：110、昭30. Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院京都大学病院泌尿器科紀要編集部。